

地球温暖化防止実行計画 I 平成 24 年度実績値

平成 24 年度の町内公共施設等の温室効果ガス総排出量実績値とその他の削減目標実績値

(1) 役場庁舎と庁舎以外の機関を含めた全ての組織及び施設（指定管理者制度、外部委託施設も含む）

■温室効果ガス（二酸化炭素）の排出実績

基準年度：平成 20 年度 2,725 トン

年度	排出量 (t)	平成 20 年度比
平成 23 年度	1,455	46.6%減
平成 24 年度	2,489	8.7%増

■その他の削減目標実績値（コピー用紙） * 学校のコピー用紙は除く

基準年度：平成 20 年度 148 万枚

年度	使用枚数 (万枚)	平成 20 年度比
平成 23 年度	193	30.4%増
平成 24 年度	176	18.9%増

■その他の削減目標実績値（上水道使用量）

基準年度：平成 20 年度 87,460m³

年度	使用量 (m ³)	平成 20 年度比
平成 23 年度	39,967	54.3%減
平成 24 年度	63,554	27.3%減

(2) 被災施設等（給食センター、図書センター、遠山保育所、テニスコート、第1スポーツ広場、アクアリーナ、町民体育館、仮設住宅）を除外した施設

■温室効果ガス（二酸化炭素）の排出実績

基準年度：平成20年度 1,678トン

年度	排出量 (t)	平成20年度比
平成23年度	1,446	13.8%減
平成24年度	1,787	6.5%増

■その他の削減目標実績値（コピー用紙） * 学校のコピー用紙は除く

基準年度：平成20年度 146万枚

年度	使用枚数 (万枚)	平成20年度比
平成23年度	191	30.8%増
平成24年度	171	17.1%増

■その他の削減目標実績値（上水道使用量）

基準年度：平成20年度 48,128m³

年度	使用量 (m ³)	平成20年度比
平成23年度	39,943	17.0%減
平成24年度	39,194	18.6%減

(3) 実績概要

上記のように温室効果ガス排出量は、全施設での実績値は削減されておりますが、被災施設等を除外した数値は、6.5%増加している状況です。

平成23年度より、みやぎ環境税が財源の「みやぎ環境交付金事業」の中で、二酸化炭素排出削減に取り組み、低炭素社会づくりによる、環境にやさしい町づくりを推進し、336基の既存の街路灯照明をLEDに交換し、街路灯57基増設しましたが、年間電気料金を76万円削減し、17トンの二酸化炭素排出量の削減も図られました。

また、町民プールの燃料を重油から、都市ガスへ転換したことで23%の二酸化炭素が、アクアリーナも震災後6月まで休館したことにより、18%の二酸化炭素が削減されました。

一方、二酸化炭素が増加した施設と増加率については、役場(56%)、アクアゆめクラブ管理棟(912%)、サッカースタジアム(200%)、まつかぜ児童館(199%)、コミュニティセンター(25%)、歴史資料館(24%)、汐見保育所(60%)、松小(32%)、向洋中(29%)、野球場(26%)となっています。

大きく増加した要因として、アクアゆめクラブ管理棟は、仮設住宅周辺の街路灯設置によるもの、サッカースタジアムは、ボランティアセンターへの無料開放など震災関連の増加と思われ、まつかぜ児童館については、平成22年度の増築が増加の理由と思われま

(4) 今後の課題

二酸化炭素排出量削減以外の削減目標である、コピー用紙が90%増加と突出しているため、ミスプリントをなくし、両面コピーや裏面再利用に努めるとともに、また、二酸化炭素削減についても、昼休みの消灯、廊下等不要な照明の消灯、空調の適正温調節など、地球にやさしいまちづくりのための行動を、各自で心がけていただきたいと思